

東洋陶磁学会 第三十六回大会のお知らせ

錦秋の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。
 この度、平成二十年度の大会を、左記のとおり開催致します。
 奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

*日時 平成二十年十一月二十二日(土)・二十三日(日)・二十四日(月・祝)

二十四日(月・祝)

*会場 二十二日・二十三日 コムズ(松山市三番町六四・二七)

二十四日 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町五十五)

*主催 四国城下町研究会・東洋陶磁学会

*後援 松山市・砥部町・東温市・愛媛新聞社

*テーマ 「四国・淡路の陶磁器―砥部焼・屋島焼の生産と流通―」

*日程

二十二日(土) 十二時受付開始 午後一時開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶

伊藤郁太郎

・松山市・砥部町・東温市挨拶

・研究発表

「砥部焼の歴史的な変遷」

山本典男

「砥部焼諸窯出土の製品と窯道具」

石岡ひとみ

・見学会

14:30 コムズ出発(大型バス) ↓ 15:10 砥部町到着: 砥部焼

伝統産業会館(説明: 山田邦男) ↓ 徒歩(10分) 陶祖ヶ丘(陶

片破片、窯道具を貼り付けた壁) 見学(説明: 山本典男・石

岡ひとみ) ↓ 徒歩(3分) 大下田窯跡(移築窯跡) 見学(説明: 岡

田敏彦) ↓ 徒歩(5分) 砥部焼伝統産業会館に戻る ↓ 17:30 砥

部町出発 ↓ 18:10 懇親会会場(松山全日空ホテル)着

・懇親会 午後七時〜 於: 松山全日空ホテル

二十三日(日) 午前九時受付開始 九時二十分発表開始

・研究発表

「西岡焼の製品と窯道具」

井上隆文

「波佐見焼と砥部焼の製品・技法の相違」

中野雄二

「近畿地方出土からみた砥部焼の流通」

赤松和佳

「中国地方出土の砥部焼」

福原茂樹

「松山城三之丸の発掘調査」

西村直人

「地方窯と消費地遺跡」

堀内秀樹

「肥前陶磁生産技術の地方窯への伝播」

大橋康二

・討論 (司会: 日下正剛・佐々木達夫)

17:00 コムズ出発(大型バス) ↓ 19:30 高松市宿舎到着

二十四日(月・祝) 午前九時受付開始 九時三十分発表開始

・研究発表

「土型と製品からみた屋島焼・源内焼」

佐藤竜馬

「富田焼・理兵衛焼」

森下友子

屋島焼伝世品・窯道具の見学

十二時 閉会

*費用

・大会参加費(参加者全員)

二、〇〇〇円

・見学会費(二十二日・申込者のみ)

二、〇〇〇円

・懇親会費(二十二日・申込者のみ)

五、五〇〇円

・昼食費(二十三日分・申込者のみ)

一、〇〇〇円

・松山↓高松バス代(二十三日・申込者のみ) 三、〇〇〇円

*交通

*コムズ <http://www.coms.or.jp/> 電話 〇八九・九四三・五七七六

「JR松山駅」から

徒歩二十分

「松山駅前」↓「南堀端」

下車徒歩五分

「松山市駅」から

徒歩十分

松山空港から

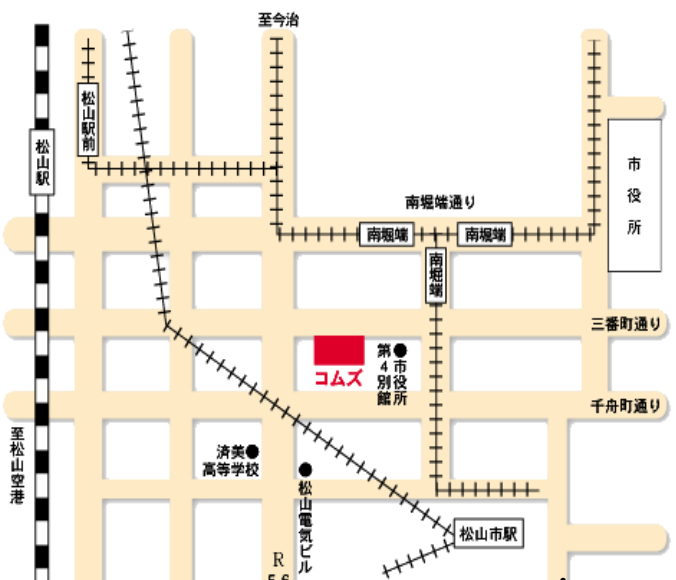
リムジンで

「JR松山駅」まで

約十五分

「松山市駅」まで

約二十分



香川県立ミュージアム ↓

<http://www.pref.kagawa.jp/kmuseum/>

電話 〇八七・八二二・〇〇〇一

・JR高松駅から東へ九百m、

又は「まちバス」で四分

・ことடன்高松築港駅から東へ八百m、

片原町駅から北へ五百m

*その他

・バス借り上げの都合上、参加申込は早めにお願ひします。

・交通・宿泊は各自でご手配下さい。(ツアー企画は中止)

・資料や図書交換をご希望の方は会場内の最後列をご利用下さい。

【注意】

・参加申込は十月二十七日迄に、振込用紙にてお願い致します。

・発表の演題および順序が変更される場合がございます。

東洋陶磁学会

〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一六一九 二采ビル二〇一

TEL・FAX 〇三・三三三九・一一七七

<http://homepage3.nifty.com/toyotoji/>

